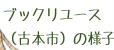
## 本を手に取る楽しみ

10/20~10/27 附属図書館除籍資料のブックリユース (古本市)を実施したところ、600冊を超える図書が新し い持ち主のもとで再活用されることになりました。このイベ ントが人と本を結ぶ一助となり、さらに図書館を活用してい ただけるきっかけになれば喜ばしい限りです。

読書の秋、まずは図書館で本を手に取り、美味しい読書を

味わってみてください。



2020 年



開館予定

『日本文学全集 13』 夏日漱石 三四郎 918/NI/13

## H 火 水 木 + 月 余 2 3 4 5 6 9 1 1 12 13 8 10 14 16 17 18 19 2.0 15 21 23 24 25 26 27 2.2. 28 29 30

11月

…休館日

··閉館日(館内整理日·学内行事日等)

…開館日

開館時間…9:00~17:00 臨時の休館・時間変更等は HP 等でお知らせします。 附属図書館オリジナル Web 香川短大HP→附属図書館→附属図書館オリジナルWeb http://lib.kjc.ac.jp/csp/carin/hp/CARhpTOP.csp

## 図書館通信

おすすめの本



2020.11.1 発行(No.55)

香川短期大学附属図書館

'三四郎』 夏日漱石 子ども学科 第1部 小松陽子 先生

私はあまり本を読むことが好きではありません。理解するのに時間がか かるからです。しかし、1冊だけ、中学生の時の宿題で仕方なく読み始めな がらも、心に残っている本があります。それは、夏目漱石の「三四郎」です。

夏目漱石の本は難しく、最初は10行読んだだけで眠くなり、良い睡眠導 入剤でした。しかし、読み進めていくと、なんとなく惹きこまれ、そして最 後には私の心にあるフレーズが残りました。それは、「stray sheep (迷え る羊)」です。中学生ながらに、「三四郎」に登場する2人の関係を示す重 要な言葉ということは理解できるのですが、そのフレーズが私の心にじわ じわ響きました。本当に 2 人の関係だけを指しているのか・・・。中学生 の私にはわかったような、でも何かモヤモヤするものが残りました。もしか したら、今の自分より中学生の私のほうが、その意味を深く「感じて」いた のかもしれません。遠く忘れてしまった気持ちを思い出すため、これを機会 にもう一度読み返そうと思います。このフレーズが気になった皆さんも、読 んでみませんか?

お知らせ



## 私が選ぶ図書館の100冊 2020

11/16 (月) ~11/27 (金) まで図書館で 「私が選ぶ図書館の 100 冊 2020」を行います。 これは、書店からお借りして展示した本の中から読みたい なと思った本、これ好き♡と思った本を投票してもらい、 上位 100 冊に入った本を図書館が購入するという素敵な 企画です!ぜひ、図書館の本選びに参加してください!!

